



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月8日

上場取引所 東

上場会社名 近畿車輛株式会社

コード番号 7122 URL <http://www.kinkisharyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡根 修司

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 益田 浩

TEL 06-6746-5231

四半期報告書提出予定日 平成29年2月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	31,754	△0.3	△10,664	—	△10,561	—	△10,570	—
28年3月期第3四半期	31,853	129.7	1,549	—	1,465	—	1,249	—

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 △12,499百万円 (—%) 28年3月期第3四半期 2,102百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	△1,535.59	—
28年3月期第3四半期	181.54	—

※平成28年10月1日を効力発生日として、普通株式10株を1株とする株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	66,018	19,119	29.0	2,777.75
28年3月期	57,563	31,826	55.3	4,623.49

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 19,119百万円 28年3月期 31,826百万円

※平成28年10月1日を効力発生日として、普通株式10株を1株とする株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,000	2.2	△12,100	—	△12,700	—	△12,800	—	△1,859.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※平成29年3月期の通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、平成28年10月1日を効力発生日として、普通株式10株を1株とする株式併合を実施したため、株式併合を考慮した金額を記載しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期3Q	6,908,359 株	28年3月期	6,908,359 株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	25,142 株	28年3月期	24,613 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期3Q	6,883,555 株	28年3月期3Q	6,884,001 株

※平成28年10月1日を効力発生日として、普通株式10株を1株とする株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続については実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(業績予想について)

当社は、平成28年6月29日開催の第104回定時株主総会において、株式併合に関する議案が承認可決され、平成28年10月1日を効力発生日として、普通株式10株を1株の割合にする株式併合を実施しております。なお、株式併合を考慮しない場合の平成29年3月期の連結業績予想は、以下のとおりとなります。

1株当たり当期純利益
通期 △185円95銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
(4) 追加情報	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 8
4. 補足情報	P. 10
生産、受注及び販売の状況	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の当社グループ(当社及び連結子会社)における業績は、売上高が317億5千4百万円(前第3四半期連結累計期間売上高318億5千3百万円)と前年同期に比べ9千9百万円の減収となりました。利益面につきましては、当社の受注した案件におきまして、現時点での見積原価をもとに将来発生が見込まれる損失を受注損失引当金として計上したことなどにより、営業損失は106億6千4百万円(前第3四半期連結累計期間営業利益15億4千9百万円)、経常損失は105億6千1百万円(前第3四半期連結累計期間経常利益14億6千5百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は105億7千万円(前第3四半期連結累計期間親会社株主に帰属する四半期純利益12億4千9百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①鉄道車両関連事業

国内向車両の西日本旅客鉄道株式会社向電車、海外向車両のロサンゼルス郡都市交通局向電車等により、売上高は311億5千5百万円(前第3四半期連結累計期間売上高312億5千4百万円)となり、営業損失は104億円(前第3四半期連結累計期間営業利益16億8千8百万円)となりました。

②不動産賃貸事業

東大阪商業施設及び所沢商業施設を中心に売上高は5億9千9百万円(前第3四半期連結累計期間売上高5億9千9百万円)となり、営業利益は5億1千9百万円(前第3四半期連結累計期間営業利益5億1千9百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は660億1千8百万円(前連結会計年度末575億6千3百万円)と84億5千5百万円の増加となりました。流動資産は主に受取手形及び売掛金の増加により、420億7千7百万円(前連結会計年度末363億5千3百万円)と57億2千3百万円の増加となりました。固定資産は主に有形固定資産の増加により、239億4千1百万円(前連結会計年度末212億1千万円)と27億3千1百万円の増加となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は468億9千8百万円(前連結会計年度末257億3千6百万円)と211億6千2百万円の増加となりました。流動負債は主に短期借入金及び受注損失引当金の増加により、372億7千8百万円(前連結会計年度末180億3千8百万円)と192億4千万円の増加となりました。固定負債は96億2千万円(前連結会計年度末76億9千8百万円)と19億2千2百万円の増加となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は191億1千9百万円(前連結会計年度末318億2千6百万円)と127億7百万円の減少となりました。その主な要因は親会社株主に帰属する四半期純損失の計上によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成28年11月4日に発表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,552	4,377
受取手形及び売掛金	7,316	12,327
仕掛品	21,100	21,785
原材料及び貯蔵品	621	744
その他	2,770	2,853
貸倒引当金	△8	△11
流動資産合計	36,353	42,077
固定資産		
有形固定資産	11,727	14,114
無形固定資産	80	93
投資その他の資産		
投資有価証券	8,794	8,978
その他	673	822
貸倒引当金	△65	△67
投資その他の資産合計	9,401	9,733
固定資産合計	21,210	23,941
資産合計	57,563	66,018

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,514	6,788
短期借入金	1,206	8,033
1年内返済予定の長期借入金	588	779
未払法人税等	131	50
前受金	4,455	5,243
賞与引当金	334	114
製品保証引当金	549	706
受注損失引当金	1,319	11,615
その他	2,937	3,946
流動負債合計	18,038	37,278
固定負債		
長期借入金	2,354	3,561
退職給付に係る負債	2,439	2,438
その他	2,905	3,620
固定負債合計	7,698	9,620
負債合計	25,736	46,898
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,252	5,252
資本剰余金	3,124	3,124
利益剰余金	18,632	7,855
自己株式	△100	△101
株主資本合計	26,909	16,131
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,508	3,640
繰延ヘッジ損益	-	29
為替換算調整勘定	1,756	△391
退職給付に係る調整累計額	△347	△289
その他の包括利益累計額合計	4,917	2,988
純資産合計	31,826	19,119
負債純資産合計	57,563	66,018

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	31,853	31,754
売上原価	27,602	40,138
売上総利益又は売上総損失(△)	4,251	△8,383
販売費及び一般管理費	2,702	2,281
営業利益又は営業損失(△)	1,549	△10,664
営業外収益		
受取利息	7	1
受取配当金	118	125
為替差益	-	265
雑収入	27	33
営業外収益合計	153	425
営業外費用		
支払利息	6	108
為替差損	132	-
固定資産撤去費	23	181
雑支出	74	32
営業外費用合計	237	322
経常利益又は経常損失(△)	1,465	△10,561
税金等調整前四半期純利益 又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,465	△10,561
法人税、住民税及び事業税	161	39
法人税等調整額	54	△31
法人税等合計	216	8
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,249	△10,570
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,249	△10,570

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,249	△10,570
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	729	131
繰延ヘッジ損益	7	29
為替換算調整勘定	52	△2,148
退職給付に係る調整額	63	58
その他の包括利益合計	852	△1,928
四半期包括利益	2,102	△12,499
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,102	△12,499
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (注)1 (百万円)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2 (百万円)
	鉄道車両 関連事業 (百万円)	不動産 賃貸事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
外部顧客への売上高	31,254	599	31,853	—	31,853
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	0	0	△0	—
計	31,254	600	31,854	△0	31,853
セグメント利益	1,688	519	2,208	△659	1,549

(注) 1 セグメント利益の調整額△659百万円は、各報告セグメントに帰属していない全社費用△659百万円であり、全社費用は当社本社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 地域に関する情報

売上高

日本(百万円)	北米(百万円)	アフリカ(百万円)	アジア(百万円)	計(百万円)
14,992	15,061	316	1,483	31,853

(注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米……………アメリカ合衆国

(2) アフリカ………エジプト・アラブ共和国

(3) アジア……………中華人民共和国(香港)、カタール国、アラブ首長国連邦

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (注) 1 (百万円)	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2 (百万円)
	鉄道車両 関連事業 (百万円)	不動産 賃貸事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
外部顧客への売上高	31,155	599	31,754	—	31,754
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	0	0	△0	—
計	31,155	600	31,755	△0	31,754
セグメント利益又は損失(△)	△10,400	519	△9,880	△783	△10,664

(注) 1 セグメント利益の調整額△783百万円は、各報告セグメントに帰属していない全社費用△783百万円であり、全社費用は当社本社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 地域に関する情報

売上高

日本(百万円)	北米(百万円)	アフリカ(百万円)	アジア(百万円)	計(百万円)
12,170	16,744	193	2,646	31,754

(注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米……………アメリカ合衆国

(2) アフリカ………エジプト・アラブ共和国

(3) アジア……………中華人民共和国(香港)、カタール国、アラブ首長国連邦

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績をセグメント毎に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(百万円)	前年同四半期比(%)
鉄道車両関連事業	30,439	107.6
合計	30,439	107.6

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメント毎に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同四半期比(%)	受注残高(百万円)	前年同四半期比(%)
鉄道車両関連事業	11,911	19.5	152,914	78.0
合計	11,911	19.5	152,914	78.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメント毎に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同四半期比(%)
鉄道車両関連事業	31,155	99.7
不動産賃貸事業	599	100.0
合計	31,754	99.7

(注) 1 セグメント間の取引については相殺消去しております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

以上